

事務事業名		除雪機械整備事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共維持G	課長名	松村 直樹
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	常松 優基	電話番号	0854-40-1063
	目的・対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		(内線)	2478
	基本事業	〈035〉道路の維持管理		予算科目	0:140:0:2	大事業名	除雪施設等整備事業
目的・対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。		1:030:0:2	中事業名	除雪機械整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
①生活道路(除雪対象路線)の利用者 ②生活道路(除雪対象路線) ③雲南市道除雪を目的とする除雪機	①市内を安全で円滑、迅速に移動できるようにする ②除雪による生活道路機能の維持管理
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	効率的な除雪体制を確保するため、除雪機械の導入を行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) 導入機種、管理体制等について入札の実施、検査、清算、納車 ・4t級除雪機1機の購入 ・8t級除雪機1機の購入 ・歩道用除雪機1台の購入 ・融雪剤散布機1台購入	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) ・令和5年度は4t級、8t級それぞれ1機の除雪機、1台の歩道用除雪機を購入し、除雪体制を強化した。 ・今後も計画的な除雪機の更新や導入が必要である。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア タイヤドーザ8t級導入台数	機	1	0	1	0
イ タイヤドーザ4t級導入台数	機	0	0	1	1
ウ タイヤドーザ11t級導入台数	機	0	0	0	1
エ 歩行用除雪機	機	2	2	1	0

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)	
・手数料319千円 ・備品購入費25,024千円 ・合計25,343千円 【地方債】合併特例債	財源内訳	国庫支出金	千円	6,966		14,666	35,464
		県支出金	千円				
		地方債	千円	3,300	1,700	9,800	17,600
		その他	千円				
		一般財源	千円	1,603	170	877	1,012
	事業費計	千円	11,869	1,870	25,343	54,076	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	4t級、8t級1機の除雪機、歩道用除雪機1台を購入し、除雪体制の強化が図れた。
② 事業実施するうえでの課題	業者数の減少や事業縮小により、業者借り上げ機械台数の減少が更に見込まれる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	これらの対処として、業者保有機械に対する維持管理費への助成増や、雲南市所有機械台数の増を進める必要がある。